

衆議院法務委員会ニュース

【第 198 回国会】令和元年 5 月 22 日（水）、第 18 回の委員会が開かれました。

1 民法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 51 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）学習院大学法務研究科教授

大村敦志君

東京都児童相談センター児童福祉相談担当課長

影山孝君

特定非営利活動法人特別養子縁組支援グミの会サポート理事長

安藤茎子君

元家庭裁判所調査官

特定非営利活動法人非行克服支援センター相談員

伊藤由紀夫君

株式会社エクセリング所属女優

サヘル・ローズ君

（質疑者）国光あやの君（自民）、浜地雅一君（公明）、山尾志桜里君（立憲）、源馬謙太郎君（国民）、藤野保史君（共産）、串田誠一君（維新）、井出庸生君（社保）

（質疑者及び主な質疑事項）

国光あやの君（自民）

- （1） 本法案の大きな論点である特別養子候補者の上限年齢の見直しについて、複数の意見がある中原則 15 歳未満を上限として取りまとめた経緯についての大村参考人の見解
- （2） 特別養子縁組の審判の手続中又は里親との関係が不調となって施設に戻された子供の精神的ダメージに対する支援策の進め方についての影山参考人及び伊藤参考人の見解
- （3） 行政及び民間あっせん団体が行うべき特別養子縁組成立後の養親に対する具体的な支援策についての安藤参考人の見解
- （4） 心に傷を負った子供やそのまま成人した者等に対して、意識や行動を変化させて社会参加を促すための社会的な取組についてのサヘル・ローズ参考人の見解

浜地雅一君（公明）

- （1） 特別養子候補者の上限年齢を原則 6 歳未満から 15 歳未満に引き上げることによって特別養子制度の趣旨が大きく変更したのではないかとの考えに対する大村参考人の見解
- （2） 未成年者を養子とする普通養子縁組に残された課題についての大村参考人の見解
- （3） 平成 20 年の「児童虐待を行った保護者に対する援助ガイドライン」の家庭養護第一の方針について、児童虐待事件が多発している中における同方針に対する児童相談所職員の心理の変化の有無及び児童相談所長に特別養子適格の確認の審判の申立権を認めると家庭養護第一の方針にもかかわらず、家庭に返さないという動きになるのではないかとの危惧についての影山参考人の見解
- （4） 特別養子候補者の上限年齢の引上げにより生ずる家庭裁判所調査官の調査手法への影響を考慮した上での今後の調査への伊藤参考人からの具体的な助言及び一時保護所については少年鑑別所の個別処遇を参考に、児童養護施設についても各種少年院が年齢や資質に応じて分類されていることを参照して改善を図るべきとの伊藤参考人の意見の具体的内容

山尾志桜里君（立憲）

- （1） 特別養子制度の夫婦共同縁組要件について及び外国から日本に来た子供として抱えてきた苦労や希望についてのサヘル・ローズ参考人の見解
- （2） 実親の同意を例外的に不要とする要件について、養子となる者の利益を著しく害する場合の判断の難しい事案の実情についての影山参考人の見解、実親の同意がない場合を審判でどのようにそしゃく

してきたかについての伊藤参考人の見解及び法制度として当該要件に関し今後検討し得る余地についての
大村参考人の見解

- (3) 里親制度と特別養子制度の望ましい役割分担及び特別養子縁組家庭にも経済的支援を行う必要があるなどその役割分担をかなえるための検討課題について、安藤参考人、影山参考人及び伊藤参考人の見解

源馬謙太郎君（国民）

- (1) 子どもを養護していく上での里親制度と普通養子・特別養子制度のバランスの良い役割分担の在り方及び里親と養親との経験を踏まえ、里子と養子それぞれの難しさについての安藤参考人の見解
- (2) 養子候補者が15歳に達している場合に特別養子縁組を成立させるためには本人の同意が必要とされたことにより実親子関係を解消する判断を迫ること及び一度特別養子縁組をすると原則離縁ができないことになっていることについてのサヘル・ローズ参考人の見解
- (3) 特別養子適格の確認の審判は確定したが、特別養子縁組の成立の審判が確定しなかった場合に養子候補者が精神的に大きな傷を負ってしまうという懸念についての伊藤参考人及び影山参考人の見解

藤野保史君（共産）

- (1) 現在政府は、児童養護施設などの小規模化や高機能化を図っていくとしているが、一時保護所や児童養護施設の改善を図る上で必要であると感じていることについての影山参考人及び伊藤参考人の見解
- (2) 今後、在留外国人が更に増えることにより社会的養護を必要とする外国人児童が増える可能性も否定できない中、児童養護施設等における外国人児童の現状とその改善策についてのサヘル・ローズ参考人の見解
- (3) 日本において要保護児童の施設内処遇が多い要因及び今後、家庭での養育を増やしていくに当たった課題についての安藤参考人の見解
- (4) LGBTなど多様な性の在り方を背景に家族の在り方が多様化する中、法制審議会における新しい家族の在り方を含めた議論の有無及び新しい家族の在り方についての
大村参考人の見解
- (5) 子供の手続代理人の選任数が少数に留まっていること並びに家庭裁判所調査官及び裁判所書記官の増員についての伊藤参考人の見解

串田誠一君（維新）

- (1) 特別養子縁組の成立の手続において15歳未満の養子候補者の意見を尊重し、年齢に応じて意見を聴く機会を設けるべきとの考えに対する各参考人の見解
- (2) 法制審議会特別養子制度部会等における特別養子縁組の離縁に関する議論についての
大村参考人の見解

井出庸生君（社保）

- (1) 特別養子縁組の養子候補者の上限年齢の引上げの運用面についての法制審議会での議論の内容についての
大村参考人の見解
- (2) 特別養子縁組の養子候補者と養親候補者との年齢差要件についての法制審議会での検討の内容についての
大村参考人の見解
- (3) 子の出自を知る権利に資するよう養子縁組以外の社会的養護事例についても記録を永年保存とする必要性についての
影山参考人の見解

- (4) 児童養護施設の地域社会への開放性に関する我が国とイランとの相違についてのサヘル・ローズ参考人の見解
- (5) 児童相談所、養子縁組あっせん団体及び児童養護施設の連携の在り方についての影山参考人及び安藤参考人の見解